

●小児歯科学講座 Department of Pediatric Dentistry

1. 所属構成員等

学 長 藤井一維
教 授 苅部洋行
准 教 授 河上智美
講 師 名生幸恵
助 教 加藤雄一，岡本亜祐子
客 員 教 授 小口春久，前田美穂
非常勤講師 坂井正彦，萩原洋子，石井伸明，米山博己，宮島圭介，小方清和，酒寄浩章，楊秀慶，萩原栄和，青柳暁子，島津貴咲，小口莉代

2. 研究テーマ

- 1) 若年期の口腔顔面痛に関する研究 Orofacial pain in children and adolescents.
- 2) 小児の歯科治療における情動に関する研究 Emotional mechanism in children during dental treatment.
- 3) 若年期の行動歯科学に関する研究 Behavioral dentistry in children and adolescents.
- 4) 全身疾患を有する小児の歯・顎顔面頭蓋の成長に関する研究 Dent-maxillo-craniofacial growth in children with systemic disease.
- 5) 小児期における口腔疾患の予防に関する研究 Prevention of dental disease for children.
- 6) 小児がんの歯科領域の晩期合併症に関する研究 Late effects on dental development of childhood cancer survivors.

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

受賞

- 1) 日本小児歯科学会・第36回関東地方会大会松風スチューデントアワード，今村夢香，島津貴咲，苅部洋行，小口莉代，小方清和，島津徳人，2021年10月17～24日，ルテインによるフェニトイン性歯肉増殖症の予防・緩和効果

特許

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 苅部洋行は，米国California大学San Francisco校のDr. Greg Goddard， Los Angeles校のDr. Andrew Shubov， Dr. Cynthia Diepと統合医療の歯科治療への有効性に関する共同研究を行っている。
- 2) 前田美穂は，International Guideline Harmonization COVID-19 Working Group memberとして2021年4月から現在まで活動 web会議参加。

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2017～2021年度，非侵襲的脳機能画像法による歯科恐怖症の脳内ネットワークの解明と新たな対応法の開発，苅部洋行（代表），4,810,000円，2020年度，650,000円
- 2) 令和3年度生命歯学部公募研究，（新規），2021年度，VR空間での視線計測と脳活動分析に基づく歯科恐怖症への画期的な対応法の新開発，苅部洋行（代表），2021年度，2,460,000円

- 3) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2020～2022年度，抗腫瘍薬による歯周組織発育への影響とフォローアップ時の支援とマネージメントの検討，河上智美（代表），荏部洋行（分担），4,290,000円，2021年度，1,560,000円
- 4) 認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト，小児がんフォローアップ研究助成金，（継続），2020～2021年度，小児がん経験者の歯の形成障害のリスク因子と発現率の調査，河上智美（代表），500,000円，
- 5) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（新規），2019～2021年度，生態学的プラーク説に基づいた新しい乳幼児齲蝕病変適用薬の開発，名生幸恵（代表），荏部洋行（分担），4,420,000円，2021年度，700,000円
- 6) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2020～2023年度，光トポグラフィーを応用した歯科恐怖症の病態解明と治療効果予測診断システムの新開発，加藤雄一（代表），荏部洋行（分担），4,420,000円，2021年度，520,000円
- 7) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2017～2021年度，歯科治療時における嘔吐反射を抑制する新しいリラクセーション法の臨床応用，岡本亜祐子（代表），荏部洋行（分担），4,680,000円，2020年度，910,000円
- 8) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2020～2022年度，補完療法とデジタルデンティストリーは嘔吐反射を緩和する新しいツールとなり得るか，岡本亜祐子（代表），荏部洋行（分担），4,420,000円，2021年度，800,000円
- 9) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2020～2022年度，薬剤性歯肉増殖症への補完代替療法：ルテインによるTRPA1チャンネルの阻害効果，島津貴咲（代表），荏部洋行，小口莉代（分担），4,290,000円，2021年度，1,560,000円

8. 研究業績

A. 著書

1. 1) 河上智美（分担執筆）：Ⅰ臓器別・症状別ガイド 5. 口腔・歯，49-53，JCCG長期フォローアップ委員会 長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ，小児がん治療後の長期フォローアップガイド，合同会社 クリニコ出版，東京，2021，ISBN 978-4-910396-13-2.
- 2) 前田美穂（分担執筆・編集）：Ⅰ臓器別・症状別ガイド 1. 神経系（認知機能を除く），22-25，JCCG長期フォローアップ委員会 長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ，小児がん治療後の長期フォローアップガイド，合同会社 クリニコ出版，東京，2021，ISBN 978-4-910396-13-2.
- 3) 前田美穂（分担執筆・編集）：Ⅰ臓器別・症状別ガイド 5. 口腔・歯，49-53，JCCG長期フォローアップ委員会 長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ，小児がん治療後の長期フォローアップガイド，合同会社 クリニコ出版，東京，2021，ISBN 978-4-910396-13-2.
- 4) 前田美穂（分担執筆・編集）：Ⅰ臓器別・症状別ガイド 8. 心臓，62-68，JCCG長期フォローアップ委員会 長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ，小児がん治療後の長期フォローアップガイド，合同会社 クリニコ出版，東京，2021，ISBN 978-4-910396-13-2.
- 5) 前田美穂（分担執筆・編集）：Ⅲ疾患別ガイド 1. 急性リンパ性白血病（ALL），124-131，JCCG長期フォローアップ委員会 長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ，小児がん治療後の長期フォローアップガイド，合同会社 クリニコ出版，東京，2021，ISBN 978-4-910396-13-2.
2. 1) 小方清和（分担執筆・編集）：1章 障害児者についての理解を深める 1. 歯科医院で行う障害者歯科治療—障害と歯科医療の関係，2-6，小方清和，小坂美樹 [編著]，歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理，医歯薬出版，東京，2021，ISBN 978-4-263-44634-8.
- 2) 小方清和（分担執筆・編集）：2章 歯科医院で障害児者への診療に備える 1. 歯科医院での障害者歯科診療の基本的な進かた，30-34，小方清和，小坂美樹 [編著]，歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理，医歯薬出版，東京，2021，ISBN 978-4-263-44634-8.

- 3) 小方清和 (分担執筆・編集) : 3章 各疾患・症状からみた障害児者への診療と対応 1. 障害者歯科医療の進めかた・本章で扱われていない疾患の考えかた, 64-66, 小方清和, 小坂美樹[編著], 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 医歯薬出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
- 4) 小方清和 (分担執筆・編集) : 3章 各疾患・症状からみた障害児者への診療と対応 7. 脳性麻痺とてんかん, 99-107, 小方清和, 小坂美樹[編著], 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 医歯薬出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
- 5) 小口莉代 (分担執筆) : 4章 障害児者や子どもを診るうえで知っておきたいトピック 2. アレルギー, 132-138, 小方清和, 小坂美樹[編著], 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 医歯薬出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
- 6) 小口莉代 (分担執筆) : 4章 障害児者や子どもを診るうえで知っておきたいトピック 3. やせ・肥満, 143-147, 小方清和, 小坂美樹[編著], 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 医歯薬出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
- 7) 小方清和 (分担執筆・編集) : 4章 障害児者や子どもを診るうえで知っておきたいトピック 4. 医療的ケアと重症心身障害, 148-153, 小方清和, 小坂美樹[編著], 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 医歯薬出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
- 8) 小方清和 (分担執筆・編集) : 4章 障害児者や子どもを診るうえで知っておきたいトピック 5. 児童虐待と障害者歯科治療, 154-159, 小方清和, 小坂美樹[編著], 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 医歯薬出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
- 9) 島津貴咲 (分担執筆) : 4章 障害児者や子どもを診るうえで知っておきたいトピック 6. 歯科恐怖, 160-164, 小方清和, 小坂美樹[編著], 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 医歯薬出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
- 10) 小口莉代 (分担執筆) : 4章 障害児者や子どもを診るうえで知っておきたいトピック 7. トランジション, 165-166, 小方清和, 小坂美樹[編著], 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 医歯薬出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
- 11) 小方清和 (分担執筆・編集) : 4章 障害児者や子どもを診るうえで知っておきたいトピック 8. 齲蝕にしないための食事習慣と上手な糖類の取りかた, 167-171, 小方清和, 小坂美樹[編著], 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 医歯薬出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
3. 島津貴咲/林 亮助 (共著), どう診る? どう育てる? 子どもたちの歯列と口腔機能, クインテッセンス出版, 東京, 2021, ISBN 978-4-7812-0833-6.

B. 原著

- 1) Diep C, Karibe H, Goddard G, Phan Y, Shubov A: Acupuncture and transcutaneous electrical acupoint stimulation do not suppress gag reflex, ☆◇Medical Acupuncture, 2021; 33(5): 353-357, doi: 10.1089/acu.2021.0008 (参照2022年4月1日).
- 2) 船山ひろみ, 齊藤桂子, 仲野和彦, 飯沼光生, 清水武彦, 下村-黒木淳子, 荻部洋行 (23th) (46 authors): 歯科医師国家試験出題基準に対する日本小児歯科学会としての考え方, ○小児歯誌, 2022; 59(2): 80-94.
- 3) Tajima H, Ogawa J, Nose I, Pawankar N, Maeda M, Takarabe M: The Impact of Childhood Disease on Hospital Visiting: A Survey of Pediatricians, ☆◇J Nippon Medl Sch., 2021; 44818: , doi: 10.1272/jnms.JNMS.2022_89-214, https://www.jstage.jst.go.jp/article/jnms/advpub/0/advpub_JNMS.2022_89-214/_pdf/-char/en, (Epub ahead of print) (参照2022年4月1日).

- 4) Terada K, Kakuda H, Iida N, Nakajima Y, Inoue F, Yoshino M, Maeda M(8th) (8 authors): A questionnaire study of support for adult survivors of childhood cancer, ☆◎◇Pediatr Int., 2021; 44867: , doi: 10.1111/ped.15047, <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.1111/ped.15047>, (Online ahead of print), (参照2022年4月1日).
- 5) Selina R van den Oever, Saskia M.F.Pluijm, Skinner R, Glaser A, Renee L.Mulder, Armenian S, Maeda M(17th) (32 authors): Childhood cancer survivorship care during the COVID-19 pandemic: an international report of practice implications and provider concerns, ☆◎◇J Cancer Surviv., 2022; 44573: 1-11, doi: 10.1007/s11764-021-01120-9, (Epub ahead of print), (参照2022年4月1日).
- 6) Masumoto D, Nakagami-Yamaguchi E, Nambu M, Maeda M, Uryu H, Hayakawa A: A pilot study of game-based learning programs for childhood cancer survivors, ☆◎◇BMC Cancer, 2022; 22(1): 340, doi: 10.1186/s12885-022-09359-w, <https://bmccancer.biomedcentral.com/articles/10.1186/s12885-022-09359-w>, (参照2022年4月1日).

C. 総説・解説

- 1) 小方清和: コロナ禍での園や学校での歯みがきについて. 保育と保健, 2021; 27(2): 67-67.
- 2) 前田美穂: 貧血検査の実施成績. 東京都予防医学協会年報, 2021; 49: 50-53.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等) ・紀要

- 1) 名生幸恵: 早期小児齲蝕 (Early Childhood Caries : ECC) に対するフッ化ジアンミン銀 (SDF) 応用の未来 —故きを温ねて新しきを知る—. 小児歯科臨床, 2021; 26(9): 22-27.
- 2) 小方清和: 上唇小帯や舌小帯が短い. 小児科9月臨時増刊号 子どものコモンな徴候徴症状, 2021; 62(10): 47-52.
- 3) 前田美穂: 【～エキスパートの経験に学ぶ～小児科Decision Making】血液に関する病態 貧血. 小児科診療, 2021; 84 (増刊) : 353-356.

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会発表

- 1) 加藤雄一, 岡田智雄, 石井隆資, 苅部洋行. プレガバリンによって奏効した非定型歯痛・顔面痛の1例. 日歯心身, 2021; 36(1/2): 67-68.
- 2) 今村夢香, 島津貴咲, 苅部洋行, 小口莉代, 小方清和, 島津徳人. ルテインによるフェニトイン性歯肉増殖症の予防・緩和効果. 小児歯誌, 2022; 60(地方会抄録号): 25-26.
- 3) 宮本真巳子, 大橋真友子, 小方清和. ファシリティドッグが介在した口腔ケアの取り組み. 小児歯誌, 2022; 60(地方会抄録号): 16.
- 4) Matsui T, Kiyotani C, Bun S, Sato S, Maeda M, Tomizawa D, Koh K. 小児がん経験者のCOVID-19流行下の生活様式および意識についてのアンケート調査 東京小児がん研究グループ研究 (Lifestyle and awareness under COVID-19 pandemic among childhood cancer survivors: a questionnaire study by Tokyo Children's Cancer Study Group(TCCSG)). 日本小児血液・がん学会雑誌, 2021; 58(4): 179.
- 5) 板橋寿和, 植田高弘, 福永遼平, 田辺雄次郎, 海津聖彦, 早川 潤, 前田美穂, 伊藤保彦. 静脈血栓塞栓症に対してリバーロキサバンを投与した血液腫瘍性疾患の2例. 日本小児血液・がん学会雑誌, 2021; 58(4): 279.
- 6) 福永遼平, 植田高弘, 田辺雄次郎, 板橋寿和, 海津聖彦, 早川 潤, 前田美穂, 伊藤保彦. 当科で経験した小児急性リンパ性白血病の精巣再発3症例の検討. 日本小児血液・がん学会雑誌, 2021; 58(4): 269.

- 7) 永吉美智枝, 早川 晶, 前田美穂, 副島堯史, 吉備智史. 小児がん経験者の入院中から復学後における学習上の困難の実態. 日本育療学会第25回学術集会プログラム, 2021; https://721a663d-c6f8-4776-a7ad-4a0ea08c7aab.filesusr.com/ugd/0e4619_90bf7abc58a54e4989194b7d455c603b.pdf.

G. 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

- 1) 前田美穂: 小児・AYA世代がんの晩期合併症と長期フォローアップ, 第538回葛飾小児科医会集談会講演会, 特別講演, 東京 (2021年5月18日).
- 2) 前田美穂: 小児がんとは? 小児がん経験者には治療後に何が必要か, 子どもと家族のQOL研究センター 2021年度秋季大会, シンポジウム, オンライン (2021年9月12日).
- 3) 前田美穂: 小児がん患者の妊孕性温存を考える, 第12回日本がん・生殖医療学会学術集会, シンポジウム, オンライン (2022年2月13日).
- 4) 前田美穂: がんサバイバーと語る長期フォローへの薬剤師介入 小児・AYA世代がんの晩期合併症と長期フォローアップの重要性, 日本臨床腫瘍薬学会学術集会 2022, シンポジウム, オンライン (2022年3月13日).

2) 講演会・研究会・研修会等での講演

- 1) 名生幸恵: こどもむしば学 エビデンスに基づいた手技と実際, 1Dオンラインセミナー, Web配信 (2022年2月22日).
- 2) 小方清和: 医療: 医療的ケア児の歯科診療, 令和3年度 東京都 医療的ケア児コーディネーター養成研修プログラム, Web配信 (2021年8月).
- 3) 島津貴咲: 子どもの歯列と口腔機能を育む ~一般歯科における早期介入の実践法~, 東京都杉並区学校歯科医会学術セミナー, ハイブリッド配信 (2022年2月9日).
- 4) 島津貴咲・林 亮助: 一般歯科でできる! 小児患者における歯列・口腔機能の予防的アプローチ, WHITE CROSS ライブセミナー (ライブおよび動画), Web配信 (2022年3月1日).
- 5) 前田美穂: E-learningの振り返り, 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS), web (2021年8月28日).
- 6) 前田美穂: E-learningの振り返り, 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS), web (2021年10月2日).
- 7) 前田美穂: E-learningの振り返り, 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS), web (2021年12月25日).
- 8) 前田美穂: E-learningの振り返り, 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS), web (2022年2月6日).

H. その他の出版物

記載事項なし